海外フィールドワーク　＜タンザニア＞

AKB Future Project 推進委員会

Tanzania

○日　程　平成 30 年 10 月 20 日(土)～29 日(月)（10 日間）
○生　徒　３名（５回生）
○研修先　タンザニア連合共和国（ダルエスサラーム、モロゴロ、ミクミ、ドドマ等）
○目　的　タンザニアを訪問し、現地の農場や食糧生産関連施設を訪問し、現地の食料事情や日本との関わりを知るとともに、現地の学生との意見交換等を通じて交流を深め、お互いの文化を理解し、国際的な視野を広げる。
○内　容　(1)　農業と食料生産に関するフィールドワーク
(2)　国際協力に係る専門家との懇談と現場視察
(2)　現地の住民や学生との交流や文化の体験

◇事前研修および準備活動

日程：　5/30、6/5、6/12、6/25、7/3、7/23、8/20、9/18、10/2、10/11、10/16

内容：　行程・研修のねらい、元 JICA 協力隊員との懇談、ﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝ作成、交流活動の準備など

◇農業と食料生産に関するフィールドワーク

1. 魚市場視察　ダルエスサラームの魚市場。大変な活気に圧倒されました。さらにこの施設は日本政府による援助で建設されたことも聞き、さらに強い感銘を受けました。

2. 野菜農家　キンゴルウィラ村のグビさんご家族が代々野菜を育てる畑を視察。日本と同じ作物（トマトやキュウリ）でもこちらでは地面でそのまま育てるなど、興味深い違いもありました。

3. バニラ農園　標高約 2,600 ﾒｰﾄﾙのウルグル山中腹にある畑まで登り、農家の収入増を目的にバニラ生産の普及拡大ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄに携わる須田さんから、事業の手応えや課題などについて聞きました。

4. ドライフルーツ工場　２０代でこの町で青年海外協力隊員として活動した長谷川さんが、アフリカで農業を行うという情熱を２０年以上も追い続けた結果完成した工場です。現在では約８０件の農家と「ビジネスパートナー」という立場で提携しながら、地域全体の生計向上に大いに貢献しています。

5. 淡水魚養殖場　内陸でしか獲れないティラピアやナマズなどの人気がある淡水魚を、インド洋沿岸の大都市ダルエスサラームに安定供給するために郊外に作られた養殖場です。

1

2

3

4

5

◇国際協力に係る専門家との懇談と現場視察

1. JICA タンザニア事務所　日本がこの国のために行っている農業関連の支援について聞きました。収穫量アップの秘訣として指導していることの多くは、意外にも「田んぼをきちんと平坦にすること」や、「苗を均等に詰めて植える」などの「基本的な」ことだと知って驚きました。

2. 日本大使館　日本とタンザニアの関わりについてJICAとは別の角度からお話を聞けました。特に、この国の経済や産業の現状やニーズなど、「食料安全保障」の視点から学ぶことができました。

3. ドドマ大学　ドドマ大学を訪れ、青年海外協力隊員（日本語教育）として活動する杉さんから、お話を聞きました。タンザニアで「日本」というと、まず連想されるのは町中を走るトヨタ車だそうで、意外にもマンガやアニメなどの日本のサブカルチャーはまだまだ浸透していないとのこと。

◇現地の住民や学生との交流や文化の体験

1. アザニア セコンダリースクール　ダルエスサラーム市内の名門校。この３人の代表生徒とは、５月から、自己紹介やお互いの国の文化紹介などのビデオメールで交流してきました。ついに直接会い、感動的な時間でした。日本から持ってきたおみやげのネクタイを渡し、お気に入りの日本のお菓子をつまみながら、お互いの国の流行から将来の夢など、若者ならではの会話に花を咲かせました。

2. キンゴルウィラ小学校　スワヒリ語に翻訳した日本の絵本３冊を寄贈し、そのうちの１冊を４年生のクラスで「読み聞かせ」に挑戦。また児童たちに「好きなもの」、「将来の夢」の絵を描いてもらいました。最後は校庭で用意してきたダンスを披露。全校生徒が集まり大変な盛り上がりでした。

3. 農家訪問　農家のグビさんのお宅におじゃましてお昼ご飯をご馳走になりました。また毎日の生活や、農業を行う喜びや悩みなどについてお話を聞かせてもらいました。

4. 村落博物館　タンザニアの様々な部族の伝統的な家屋や音楽や踊りを間近で見ることができました。また楽器や踊りを一緒に体験させてもらいました。

5. ミクミ国立公園　国立公園の中に泊まり、ゲームドライブ（サファリ）でアフリカならではの野生動物を見ました。象、キリン、水牛、ワニ、カバなどに加え、ヒョウやライオンも見られました。

◇海外フィールドワークに参加した生徒の意見・感想

- タンザニアの人の温かさと、支援などで奮闘する日本人の方々の情熱に感動しました。たくさんの刺激と感動で視野が大きく広がったと感じました。また、自分の足で行って、実際に見て、触れて、感じて考えることの大切さを学ぶことができました。
- タンザニアの人たちの温かさと、人生の多様性を学びました。今後の視点が広がる研修でした。
- めったに会うことのないタンザニアの人々、現地で働く日本人との出会いはどれも刺激的でした。日本では見られない生き方・考え方に触れたことで、視野が広がりました。